

スマートフォン、タブレットでも  
受講可能！

**無料** お試し受講で

ご確認ください！



オンラインセミナーだから、  
場所と時間の都合にあわせて学習が可能です。

オンラインで個人学習ができるため、忙しい方でも、集合研修が難しい場合でも、時間と場所の都合にあわせて研修することが可能です。配信期間は7カ月間（6ヶ月+おまけ1ヶ月）で、繰り返し視聴することができます。テキストはダウンロードできます。まずは、無料のお試し受講でご確認ください。

JMA オンラインセミナー お申し込みから受講まで

- 1 WEBフォーム よりお申し込みください
- 2 ログインID と パスワード をお送りします
- 3 ログインID と パスワード でログイン
- 4 受講期間中 **何度でも自由に** 視聴いただけます

〈画面イメージ〉



【法人申込みについて】

法人でお申込みをいただいた場合、管理者（教育ご担当者）用IDを1ID発行いたします。  
管理者は、全受講者の学習状況の進捗を確認できます。

オンラインセミナーの詳細は

ものづくりオンラインセミナー

検索

お問い合わせ先：一般社団法人日本能率協会 ものづくりオンラインセミナー事務局 seisan@jma.or.jp

<http://www.jma-online.com/>



# IE基礎テクニック習得コース

管理技術【IE(インダストリアル・エンジニアリング)】の手法を体系的に習得できるコースです。  
工場の見直し・強化、海外工場の拡大・指導に必要な基本知識を網羅したプログラムになっています。

プログラム内容	
改善技術の基礎知識	1.基礎用語を理解する ・IE、生産管理、標準時間 ・ワークユニット、改善技術とは ・現状分析技術、改善発想法とは 2.現状分析技術の活用方法の理解と体験 ・ワークユニット ・タイムスタディー ・標準時間の設定 3.改善発想技術の活用方法の理解と体験 ・改善の4原則 (ECRS) と5W1H ・ブレインストーミング ・改善案作成の体験
稼働分析によるロスの明確化	1.稼働分析の狙い ・稼働分析とその目的 ・稼働分析の手法 ・作業の分類とは 2.稼働分析の手法を学ぶ ・連続稼働分析 ・連続稼働分析の手順 ・事例紹介 3.ワークサンプリング理論 ・ワークサンプリングの理論 ・瞬間観測法：ワークサンプリング ・ワークサンプリングの手順 ・ワークサンプリング結果からの改善着眼点
工程分析による製造特性の把握	1.工程分析とは ・工程分析の種類と目的 ・工程分析の定義 2.工程分析の進め方 ・工程の定義 ・工程の種類と記号 (加工・運搬・検査・停滞) ・工程の手順 (フロープロセスチャート) 3.工程分析の応用 ・アッセンブリーチャート ・経路分析、フローダイヤグラム 4.工程改善の各ポイントの理解 ・工程数の減少、加工作業、運搬作業、検査作業、貯蔵、停滞 ・工程改善チェックリストの説明
ライン作業分析による現場改善	1.ライン作業とは ・ラインとは ・ラインのメリット、デメリット ・生産方程式別の比較 (ライン、ジョブショップ、セル) 2.ライン作業分析とは ・ライン作業分析の目的 ・ピッチタイムと目的サイクルタイム ・ラインバランスとは 3.ライン編成の手順 ・編成の要点 ・実践・ライン改善
連合作業分析による現場改善	1.連合作業分析とは ・連合作業分析とその目的 ・連合作業分析の手法 ・目標サイクルタイムの算出 2.連合作業分析の種類 ・連合作業の形態 ・連合作業に使われる分析記号 3.連合作業分析の手順 ・連合作業改善の視点 ・対象の選定 ・現状の定量化 ・目標サイクルタイム (TCT) の算出 ・M-Mチャートの作成 ・連合作業分析表のまとめ ・改善案の作成 4.連合作業分析による改善の目的のつけどころ ・人と人の連合作業の作業改善ポイント ・人と機械の連合作業の作業改善ポイント ・チェックリストの活用方法

## 受講料

1/ID 29,800円 (税別)

法人申込で複数ID申込みいただく場合、2ID目以降10,000円/ID(税別) (99IDまで)  
演習問題・回答あり≪配信期間：6ヶ月+おまけ1ヶ月≫

### 【配信時間：約23時間10分】

本コースは、IEの基礎知識や改善技術、IE技術を体系的に学べるコースです。

第一章で改善技術の基礎知識を学習したのち、稼働分析、工程分析、ライン分析、そして連合作業分析と対象範囲と視点をひろげていくプログラム構成となっています。

また、各章に演習問題と回答をご用意していますので、理解度を確認しながら学習をすすめることができます。  
複数人でディスカッションしながら理解を深めるのもおすすめの方法です。

これから先、製造現場の競争力強化を担う新人・中堅技術者、海外工場などの改善指導者候補を対象としています。

#### ■以下の方に特におすすめです

- ✓ 若手、中堅生産技術者・製造技術者の方
- ✓ 将来、生産・製造部門のスタッフ、管理者になられる方
- ✓ 海外工場で製造現場を指導・管理される方
- ✓ 工場改善プロジェクトを担当される方
- ✓ 製造統括を担当される方
- ✓ 調達、購買、資材、物流を担当される方
- ✓ 社内IEインストラクター・講師の方

#### ■こんな課題・状況に対応します

- ・研修に参加するスケジュールの確保が難しい
- ・会場手配などの準備がむずかしい  
(パソコン/スマホ/タブレットがあれば受講が可能です)
- ・経験、スキルがまちまちで、社内で集合研修が難しい
- ・社内スキルの標準化を図りたい
- ・海外スタッフのレベルアップを図りたい

#### ■管理者機能

「社内全体のスキルアップのために購入したが、誰がどこまで受講したのか把握できない」  
などのご要望に応え管理者機能を実装いたしました。

法人申込みの場合、管理者 (教育ご担当者) 用IDを1ID発行いたします。  
管理者 (教育ご担当者) は、全受講者の学習状況の進捗を確認できます。

管理者機能で確認することで、学習状況の見える化が可能になり、受講生の学習をサポートすることも可能となります。

#### ■テキストについて

オンラインセミナーで使用している資料は、テキストとしてダウンロードいただけます。

#### ■本コースの視聴期間

申込日から6ヵ月間+おまけ1ヶ月 (合計7ヶ月)  
例：2019年1月1日申込の場合 視聴期間は2019年8月1日までとなります。  
※視聴期間は日本時間で設定されています。



# 調達ベーシックオンラインコース

購買・調達の必須知識を4か国語（日本語、英語、中国語、タイ語）で学べます。共通の教材を使用することにより、知識の平準化や現地スタッフのスキルアップにも利用できます。日本語版は理解度テスト付き、視聴期間中何度でも受験可能です。テスト結果を振り返ることが出来るので、学習内容を十分に理解できます。

プログラム内容	
調達管理の基本	・調達に求められる役割とその業務領域 ・調達品質管理の基本 ・調達納期管理の基本 ・在庫管理の基本 ・在庫削減の基本 ・調達期間短縮の基本
コストリダクション マネジメント	・調達コストリダクション（コストダウン）の基本 ・調達コストリダクションの基本ステップ
コスト分析	・査定とは？ ・原価明細見積りの考え方と書式 ・類似品査定 ・合見積比較 ・現場査定
交渉技術	・調達交渉のはたらき ・調達交渉準備の基本 ・本格交渉の基本
CSR/ リスクマネジメント	・CSRと調達 ・調達リスクとリスクマネジメントの基本 ・倫理的リスク、法的リスク ・契約の基本
サプライヤー マネジメント	・サプライヤー管理とは？ ・サプライヤーマネジメントの全体像 ・新規サプライヤー探索のポイント ・サプライヤー集約のポイント ・サプライヤー強化のポイント
サプライヤー評価	・サプライヤー評価の仕組み ・財務諸表の作られ方・読み方（※日本語版のみ） ・財務分析の基本（※日本語版のみ）
改善手法1：VE	・VE(Value Engineering) 概論 ・VEの推進手順1 ・VEの推進手順2
改善手法2：IE	・IE(Industrial Engineering)概論 ・現状分析（工程分析、稼働分析、作業分析、ライン作業分析、連合作業分析）
改善手法3：QC	・QC(Quality Control)と問題解決手法 ・問題解決の進め方1 ・問題解決の進め方2
コスト査定演習	・コスト査定演習
カテゴリー戦略	・カテゴリー戦略とは ・カテゴリー戦略立案の手順とポイント
改善手法4：VR	・VR(Variety Reduction)の基本 ・VRの5つのコンセプト
原価企画/開発購買	・原価企画とは ・原価企画のポイント ・開発購買とは ・開発購買のポイント

## 受講料

1/ID 39,800円（税別）法人申込で複数ID申込みいただく場合、2ID目以降10,000円/ID（税別）（99IDまで）  
日本語・英語（理解度テストつき）＋タイ語・中国語（理解度テストなし）  
※理解度テストは、日本語のみ。≪配信期間：6ヶ月＋おまけ1ヶ月≫

## 【配信時間：約23時間】

日本語版・理解度テストつき（全16章）約12時間  
英語版・理解度テストつき（全16章）約12時間  
タイ語版・理解度テストなし（全14章）約12時間  
中国語版・理解度テストなし（全14章）約12時間

調達ベーシックオンラインコースは、調達・購買・資材部門の必須知識を体系的・網羅的に学ぶ事ができる、基礎教育プログラムです。

購買・調達を学ぶ場は限定的で、現場での実体験を通じ、専門性を高めるケースも少なくないため、購買・調達を体系的・網羅的に学べるコースについて多くのご要望をいただいていた。全メンバーで共通言語、共有知識をもって対話するためにお役にたきたたく、管理者機能つきと理解度テストつきのオンラインのビデオ講座にしました。

配信期間内はくり返し視聴ができ、視聴途中の続きから視聴できるため、すきま時間を使った学習が可能です。

## ■以下の方には特にお勧めです

- ✓ 購買・調達部門に新規配属された方
- ✓ 新任バイヤーの教育担当（OJTリーダー）の方
- ✓ 購買・調達の実務知識の基礎を学びたい方
- ✓ 購買・調達の社内インストラクターの方
- ✓ 生産本部、生産管理のご担当スタッフの方
- ✓ 工場長、製造統括のご担当の方

## ■プログラムの特徴

購買・調達部門に必要な知識を体系的に習得できます。1講座あたりの視聴時間は15分から30分程度で、無理なく受講できます。

1IDで日本語（理解度テストつき）の他に英語・タイ語・中国語（理解度テストなし）のいずれも受講できます。多言語で現地スタッフのスキルアップに利用できます

## ■こんな課題・状況に対応します

- ・研修に参加するスケジュールの確保が難しい
- ・会場手配などの準備がむずかしい  
（パソコン/スマホ/タブレットがあれば受講が可能です）
- ・経験、スキルがまちまちで、社内でも集合研修が難しい
- ・社内スキルの標準化を図りたい
- ・海外スタッフのレベルアップを図りたい

## 調達ベーシックオンラインコースをより有効に学習するための機能

### ①管理者機能

「社内全体のスキルアップのために購入したが、誰がどこまで受講したのか把握できない」などのご要望に応え管理者機能を実装いたしました。

法人申込みの場合、管理者（教育ご担当者）用IDを1ID発行いたします。

管理者（教育ご担当者）は、全受講者の学習状況の進捗を確認できます。

管理者機能を確認することで、学習状況の見える化が可能になり、受講生の学習をサポートすることも可能となります。

### ②理解度テスト（日本語版）の導入

「調達ベーシックオンラインコース理解度テスト（日本語版）」は、視聴期間中なら何度でも受講可能です。

結果も振り返ることが出来るので、学習内容を十分に理解しながら学習できます。

※理解度テストは「調達ベーシックオンラインコース（日本語版）」のみ対応しております。

### ■テキストについて

オンラインセミナーで使用している資料は、テキストとしてダウンロードいただけます。

### ■本コースの視聴期間

申込日から6ヵ月間＋おまけ1ヶ月（合計7ヶ月）

例：2019年1月1日申込の場合 視聴期間は2019年8月1日までとなります。

※視聴期間は日本時間で設定されています。

# 開発・設計コース

プログラム内容	
品質データを活用して 開発設計プロセスを革新する	第1回：品質データを分析することと振り返り分析 第2回：フロントローディングとは 第3回：課題抽出とリスクマネジメント 第4回：開発計画書を革新する 第5回：V字アプローチとコンカレントエンジニアリング
開発設計部門のための ナレッジ・マネジメントと ロジカル・シンキング	第1回：ナレッジ・マネジメントとは 第2回：身近にあるナレッジを整理する 第3回：ナレッジを使えるようにするには。ロジカル・シンキングの活用 第4回：ナレッジ・マネジメント・ツールの活用 第5回：ナレッジ・マネジメントを業務プロセスに織り込む
開発設計者のための コストダウンの進め方	第1回：開発設計者のための4つのコストダウン・アプローチ 第2回：商品・技術ロードマップとプラットフォーム戦略 第3回：開発設計着手時のフロントローディング・アプローチ 第4回：試作品に対するVE/VAアプローチ 第5回：発売後の製品に対するVE/VAアプローチ

## 受講料

1/ID 19,800円（税別）

法人申込で複数ID申込みいただく場合、2ID目以降10,000円/ID（税別）（99IDまで）

≪配信期間：6ヶ月+おまけ1ヶ月≫

### 【配信時間：約2時間15分】

「開発設計のプロセス革新」とは、  
開発・設計プロジェクトにおいて

- 1.各工程で問題・トラブルを出さない
- 2.問題・トラブルをできるだけ早く見つける

ために、  
品質トラブルを「未然防止」、「流出防止」、「再発防止」すること、また、同じ失敗を繰り返さないこと、そして、次のプロジェクトに活かすことです。

過去の類似プロジェクトのノウハウを最大限に活用するという視点から具体的に解説します。

開発・設計プロジェクトにおいて完全に新規なものというのはほとんどありません。  
したがって、「過去の類似プロジェクトのノウハウ」を最大限に活用するための基礎知識とコツを学ぶことは、大変有効です。

ぜひ、本講座をもとに品質データを活用して、開発設計のプロセス革新に挑戦してみてください。

### ■以下の方に特におすすめです

- ✓ 商品開発・技術開発・開発設計技術者の方
- ✓ 改善プロジェクトを担当される方
- ✓ 生産技術者・製造技術者の方
- ✓ 将来、開発設計部門の管理者になられる方
- ✓ 社内インストラクター・講師の方

### ■こんな課題・状況に対応します

- ・研修に参加するスケジュールの確保が難しい
- ・会場手配などの準備がむずかしい  
（パソコン/スマホ/タブレットがあれば受講が可能です）
- ・経験、スキルがまちまちで、社内で集合研修が難しい
- ・社内スキルの標準化を図りたい

### ■管理者機能

「社内全体のスキルアップのために購入したが、誰がどこまで受講したのか把握できない」  
などのご要望に応え管理者機能を実装いたしました。

法人申込みの場合、管理者（教育ご担当者）用IDを1ID発行いたします。

管理者（教育ご担当者）は、全受講者の学習状況の進捗を確認できます。

管理者機能で確認することで、学習状況の見える化が可能になり、受講生の学習をサポートすることも可能となります。

### ■テキストについて

オンラインセミナーで使用している資料は、テキストとしてダウンロードいただけます。

### ■本コースの視聴期間

申込日から6ヵ月間+おまけ1ヶ月（合計7ヶ月）

例：2019年1月1日申込の場合 視聴期間は2019年8月1日までとなります。

※視聴期間は日本時間で設定されています。



# ものづくりヒューマンスキルコース

プログラム内容	
1.管理職のためのモチベーション・マネジメントの視点	1-1.モチベーション・マネジメントの視点 1-2.無気力 1-3.外発的動機付け 内発的動機付け 1-4.エンゲージメント
2.効果的なリーダーシップのためのティーチングとコーチング	2-1.スキルとモチベーションに合わせた対人対応の必要性 2-2.ティーチングとコーチングを職場で実践する
3.コーチングの基本	3-1. コーチングの基本視点および進め方とテクニック 3-2.コーチングのためのGROWモデル
4.ティーチングの基本	4-1.ティーチングの基本視点及び進め方とテクニック
5.チームビルディングの必要性和視点	5-1.チームビルディングとは 5-2.タックマン・モデル
6.チームにおけるコミュニケーション	6-1.コミュニケーションの基本モデル 6-2.自己対話・状態管理力を高める 6-3.メンバーの反応を観察する 6-4.メンバー間の信頼関係を構築する 6-5.成果を引き出す質問力を磨く

## 受講料

1/ID 29,800円（税別）

法人申込で複数ID申込みいただく場合、2ID目以降10,000円/ID(税別)（99IDまで）

≪配信期間：6ヶ月+おまけ1ヶ月≫

## 【配信時間：約3時間43分】

チームやグループ、部門間での良好な人間関係を構築・維持する能力や技術のことをヒューマンスキルと呼びます。

組織的なものづくり活動において、協力関係を有効に活かすためには、職位や職能にかかわらず、すべてのメンバーが、ヒューマンスキルに関しての知識や意識を共有していることは非常に効果的です。

また、コンセプトチャルスキルやテクニカルスキルを有した、リーダーシップのある有能な方であるほど、ヒューマンスキルの有効性が発揮されるでしょう。

## ■こんな課題・状況に対応します

- ・研修に参加するスケジュールの確保が難しい
- ・会場手配などの準備がむずかしい  
(パソコン/スマホ/タブレットがあれば受講が可能です)
- ・経験、スキルがまちまちで、社内で集合研修が難しい
- ・社内スキルの標準化を図りたい

## ■管理者機能

「社内全体のスキルアップのために購入したが、誰がどこまで受講したのか把握できない」  
などのご要望に応え管理者機能を実装いたしました。

法人申込みの場合、管理者（教育ご担当者）用IDを1ID発行いたします。  
管理者（教育ご担当者）は、全受講者の学習状況の進捗を確認できます。

管理者機能で確認することで、学習状況の見える化が可能になり、受講生の学習をサポートすることも可能となります。

## ■テキストについて

オンラインセミナーで使用している資料は、テキストとしてダウンロードいただけます。

## ■本コースの視聴期間

視聴期間 申込日から6ヵ月間

例：2019年1月1日申込の場合 視聴期間は2019年7月1日までとなります。

※視聴期間は日本時間で設定されています。

# 技術英語コース（日本工業英語協会）

プログラム内容	
技術英語ライティング基礎Ⅰ	Lesson 1 技術英語ライティングとは Lesson 2 3つのC - Clear（明確に） Lesson 3 3つのC - Concise（簡潔に） Lesson 4 3つのC - Correct（正確に） Lesson 5 名詞の使い方技術英語がスマートになる
技術英語ライティング基礎Ⅱ Part1	Lesson 1 冠詞を使いこなす Lesson 2 主語の選び方 Lesson 3 自動詞と他動詞 Lesson 4 動詞で決まる！
技術英語ライティング基礎Ⅱ Part2	Lesson 1 名詞の前に置く修飾語句 Lesson 2 名詞の後に置く修飾語句 Lesson 3 助動詞 Lesson 4 時制 Lesson 5 英語を書くときのルール
技術英語ライティング基礎Ⅱ Part3	Lesson 1 接続詞でつなぐ Lesson 2 シグナルワード Lesson 3 分詞構文で文を短く Lesson 4 読み手を説得する構成 Lesson 5 パラグラフ
技術系の「伝わる」英文Eメールの書き方 基礎・演習	Lesson 1 技術情報をわかりやすく伝えるためのポイント Lesson 2 技術系英文Eメール作成の基礎 理解度テスト Lesson 3 技術系英文のポイント(1) 理解度テスト Lesson 4 Lesson 4 実践! Eメール(1) Lesson 5 Lesson 5 技術系英文のポイント(2) 理解度テスト Lesson 6 実践! Eメール(2)

## 受講料

1/ID 19,800円（税別）

法人申込で複数ID申込みいただく場合、2ID目以降10,000円/ID(税別)（99IDまで）

＜配信期間：6ヶ月＋おまけ1ヶ月＞

## 【配信時間：約3時間30分】

技術系英文は、技術英語あるいは工業英語と呼ばれています。

発祥の地のアメリカでは、テクニカルライティングと言われてい

ます。  
The society for technical communication では、さまざまな技術分野や、職業分野で使用される、技術コミュニケーションの一つの形と定義されています。

技術英語では、この世界標準のテクニカルライティングのスキルを学ぶことがポイントになります。  
ノンネイティブの私たちであっても、世界標準の英語が書けるようになります。

技術系英文の目的は、正確な情報を素早く伝えて、相手を説得することにあります。

そのためには、

**シンプルに  
わかりやすく**

書くことが大切です。

40年の歴史を持つ「工業英検」の主催団体「公益社団法人日本工業英語協会」が製作した「技術英語オンラインコース」では、基礎から実務に活用できる内容を体系的にまとめておりますので、実践に即活用頂けます。

技術系の「伝わる」英文Eメールの書き方には理解度テストがありますので、受講の管理者の方は、受講者のテスト結果の可否をみて受講状況を管理することができます。

## ■こんな課題・状況に対応します

- ・研修に参加するスケジュールの確保が難しい
- ・会場手配などの準備がむずかしい  
（パソコン/スマホ/タブレットがあれば受講が可能です）
- ・経験、スキルがまちまちで、社内で集合研修が難しい
- ・社内スキルの標準化を図りたい

## ■管理者機能

「社内全体のスキルアップのために購入したが、誰がどこまで受講したのか把握できない」

などのご要望に応え管理者機能を実装いたしました。

法人申込みの場合、管理者（教育ご担当者）用IDを1ID発行いたします。

管理者（教育ご担当者）は、全受講者の学習状況の進捗を確認できます。

管理者機能で確認することで、学習状況の見える化が可能になり、受講生の学習をサポートすることも可能となります。

## ■テキストについて

オンラインセミナーで使用している資料は、テキストとしてダウンロードいただけます。

## ■本コースの視聴期間

申込日から6ヵ月間＋おまけ1ヶ月（合計7ヶ月）

例：2019年1月1日申込の場合 視聴期間は2019年8月1日までとなります。

※視聴期間は日本時間で設定されています。



# グラフィックファシリテーション入門

## プログラム内容

1. 表紙 (GF) グラフィックファシリテーション
2. 自己紹介 GFとは 普通の会議に第三の手法。
3. 絵巻物が導入される会議の、昨今の共通ワード。
4. ○△□で絵は描けるが…大事なものは、どう聴くか。
5. 感情 (だれが? どう感じる?) を汲み取ろう!
6. 頭の中で絵に描く。絵巻物思考で議論を変える。
7. ネガティブな感情の共有こそが、未来への近道。
8. ポジティブな議論だけでは絵空事、ネガポジ曲線。
9. モヤモヤしていることから話す。曖昧さに未来。
10. ネガ・モヤモヤを引き出す。
11. 質疑応答

## 受講料

1/ID 29,800円 (税別)

法人申込で複数ID申込みいただく場合、2ID目以降10,000円/ID(税別) (99IDまで)

≪配信期間: 6ヶ月+おまけ1ヶ月≫

## 【配信時間: 約1時間54分】

もし、あなたが次のような問題意識をお持ちでしたらグラフィックファシリテーションを使った会議をとりいれることはお役に立つでしょう。

「ものづくりの技術的優位性を市場競争力の優位性に繋げたい」  
「顧客価値の高い製品、システム、サービスの開発をしたい」  
「不確実性を恐れずチームの対話でうまく構想を決定したい」  
「モノや形がない状況でも、アイデアや提案を交換しながら皆が同じ目線で判断・決定をしたい」  
「製造も、事業部も、販売も、うまく説得したい。しっかり納得してもらってモチベーションを上げたい」

一般的に「具体的な何かがまだ見えていない」段階での議論は「絵空事」に終わってしまいがちです。

多様な関係者の理解をつなぎ、手を打つべき問題が「見える」議論をするためには会議を変える必要があります。

「言葉」と「文字」だけでは伝えきれないそれぞれの「思い」を、左脳の考え方と右脳の考え方を併用して発想を広げていく会議にする必要があるのです。

そのような場面では、右脳を刺激する第3のコミュニケーションツール、グラフィックをつかったファシリテーションの考え方 (絵巻物思考) が有効です。

グラフィックファシリテーションでは「第三の目」=「グラフィック」をつかって知識やアイデア、暗黙知、思考 (ブレインの中身) の見える化 (外在化) します。

「聴いて」「描いて」「話しあう」のです。

グラフィックファシリテーション入門セミナーでは、『絵空事に終わらせない未来』を描く方法論について、実践的な解説をしています。

ぜひ、自由な対話を産み、議論を深め、新しい発想を生み出す会議にチャレンジしてください。

## ■こんな課題・状況に対応します

- ・研修に参加するスケジュールの確保が難しい
- ・会場手配などの準備がむずかしい  
(パソコン/スマホ/タブレットがあれば受講が可能です)
- ・経験、スキルがまちまちで、社内で集合研修が難しい
- ・社内スキルの標準化を図りたい

## ■管理者機能

「社内全体のスキルアップのために購入したが、誰がどこまで受講したのか把握できない」  
などのご要望に応え管理者機能を実装いたしました。

法人申込みの場合、管理者 (教育ご担当者) 用IDを1ID発行いたします。  
管理者 (教育ご担当者) は、全受講者の学習状況の進捗を確認できます。

管理者機能で確認することで、学習状況の見える化が可能になり、受講生の学習をサポートすることも可能となります。

## ■テキストについて

オンラインセミナーで使用している資料は、テキストとしてダウンロードいただけます。

## ■本コースの視聴期間

申込日から6ヵ月間+おまけ1ヶ月 (合計7ヶ月)

例: 2019年1月1日申込の場合 視聴期間は2019年8月1日までとなります。

※視聴期間は日本時間で設定されています。